

次期中部圏広域地方計画の構成

『目標』の項目変更

【変更前】※前回会議時点

目標1 魅力あふれる地域の創出

目標1-1 活力ある地方の創生

目標1-2 暮らしやすい地域生活圏の形成

目標2 ものづくりを礎に世界をリードし続ける産業への進化

目標2-1 ものづくりの高付加価値化と新産業の創出による産業の強化

目標2-2 持続可能な産業の構築

目標3 日本中央回廊による効果を最大化する圏域づくり

目標3 日本中央回廊による効果を最大化する圏域づくり

目標4 恵みの活用、国土の強靱化

目標4-1 魅力ある地域資源の保全・活用

目標4-2 地域が直面するリスクへの対応

【変更後】

目標1 すべての地域が魅力あふれる生活圏の創出

1. 活力ある地方の創生

2. 暮らしやすい地域生活圏の形成

目標2 ものづくりを礎に世界をリードし続ける産業への進化

1. ものづくりの高付加価値化と新産業の創出による産業の強化

2. 持続可能な産業の構築

目標3 日本中央回廊による効果を最大化する圏域づくり

1. 日本中央回廊の効果の最大化～日本のハートランド・中部

2. リニア中央新幹線開業による新たな価値の創造

3. 交通ネットワーク強化による広域的波及

4. 国際大交流時代を拓く観光・交流

目標4 自然の恵みの保全と活用

1. 自然環境と健全な生態系の保全・再生

2. カーボンニュートラル社会の実現による持続可能な地域づくり

3. 適切な国土保全

目標5 強靱な国土の構築

1. 南海トラフ地震に備えた強靱な国土の構築

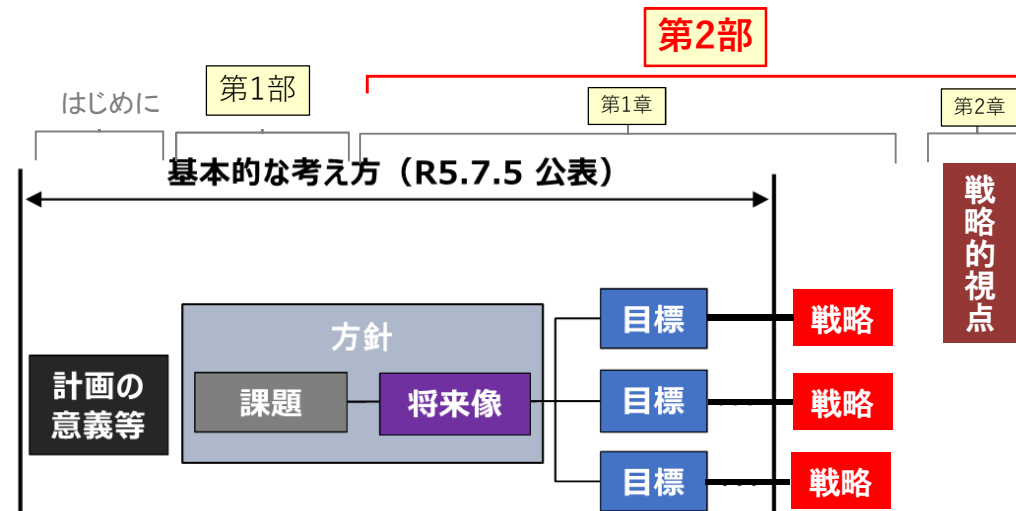
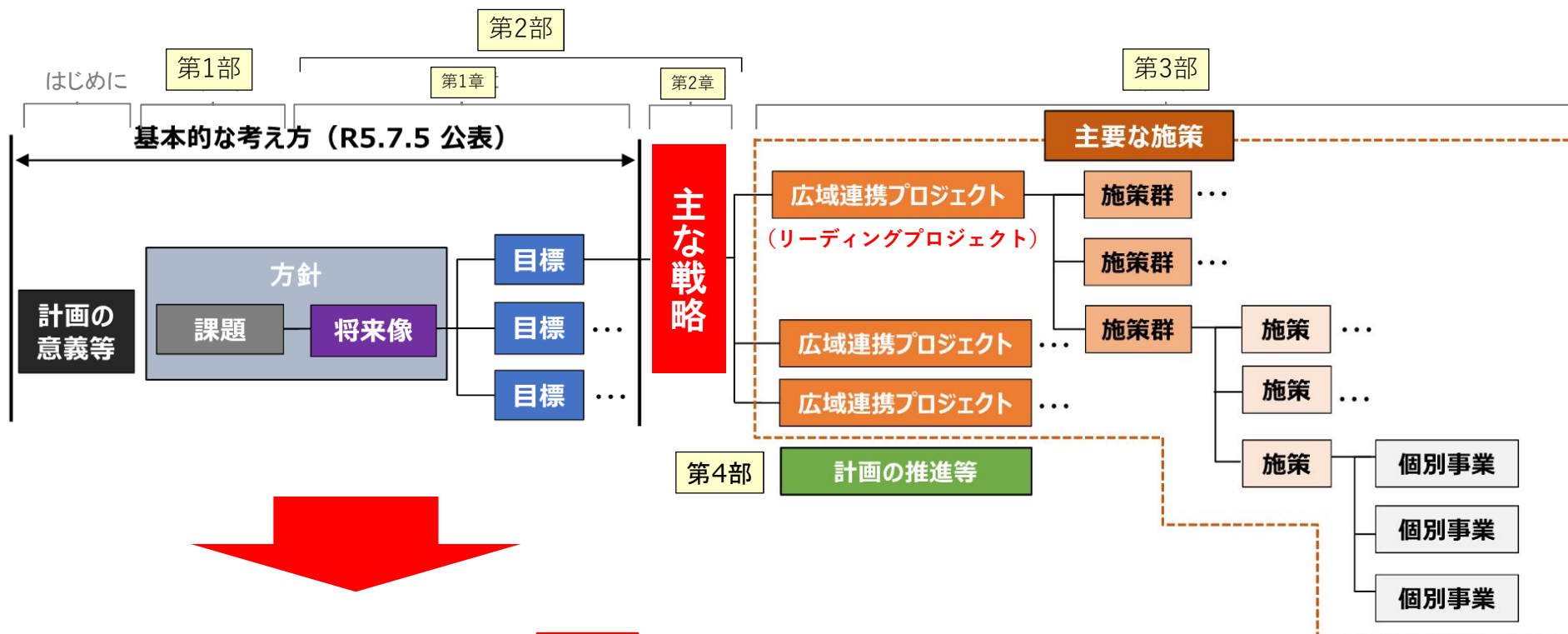
2. 頻発化、激甚化する自然災害とあらゆるリスクへの対応

3. ネットワークの多重性・代替性の確保、首都圏バックアップ体制の強化

4. インフラの維持・整備・活用

文章構成の変更

※R5.10.6国土審 推進部会資料に中部圏構成案を追記



【変更点】

第2部第2章で掲載していた『主な戦略』を、
第2部第1章の『目標』に紐付け、
『目標・戦略』として掲載

中間とりまとめ(素案)の構成について

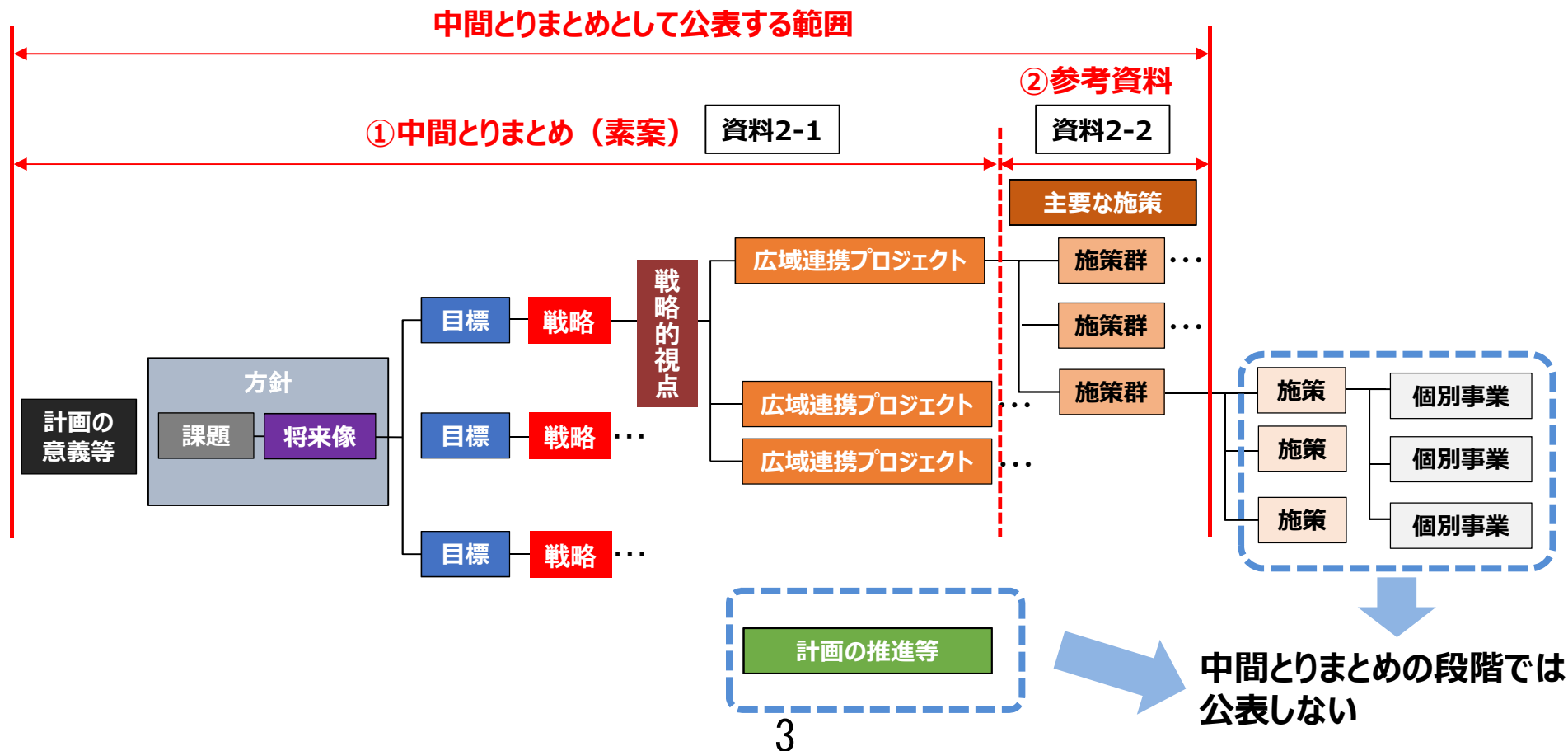
【公表イメージ】

① 中部圏広域地方計画 中間とりまとめ（素案）

→ 計画の意義等～広域連携プロジェクト および そのリード文まで

② 中部圏広域地方計画に関する広域連携プロジェクト検討状況（参考資料）

→ 施策群 および そのリード文



【参考】次期中部圏広域地方計画の構成

はじめに **計画の意義** : 計画の意義、計画の位置付け、対象区域、計画期間など

第1部 **課題** : 圏域の強み・弱み、取り巻く環境の変化等を分析した内容と、現況への対応方針

第2部

将来像 : 課題を踏まえて目指す地域の概括的な方向性

目標・戦略 : 将来像で示された概括的な方向性を分野ごとに具体化した、計画を通じて目指すべき目標と戦略

戦略的視点 : 目標の実現に向けた戦略を推進する際に留意すべき4つの視点

第3部

主要な施策 : 「目標」を達成するために、広域の見地から行う必要がある主要な施策

広域連携プロジェクト : 目標を達成するために必要な広域性、戦略性、総合性、実効性の全ての性質を備えたプロジェクト

施策群 : 施策を小見出しでまとめたもの

施策 : 広域連携プロジェクトを推進するための、より具体化された取組

個別事業 : 各主体が行う施策を構成する最小単位の事業

第4部 **計画の推進等** : 多様な主体の参画・協働、他圏域との連携、他計画・施策との連携、計画進捗管理など、計画の推進に必要な事項